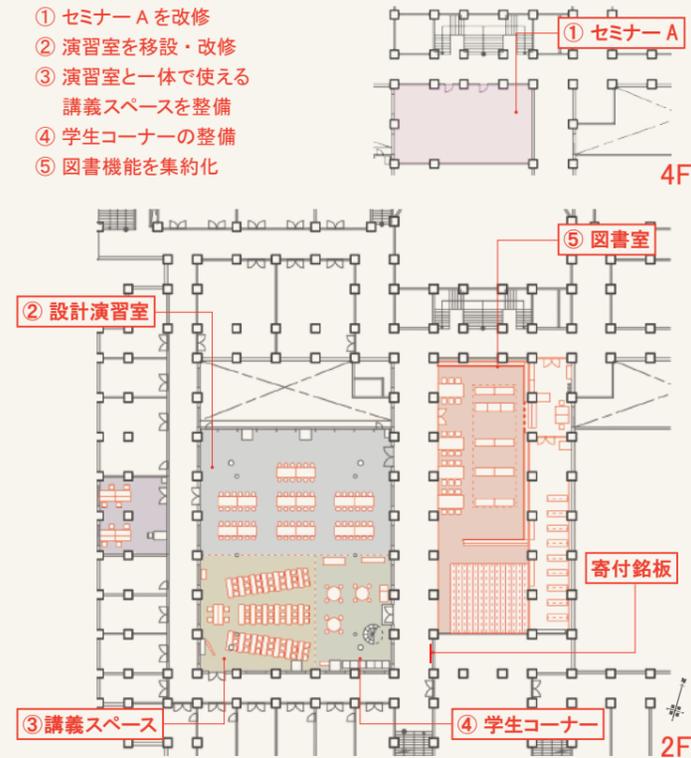


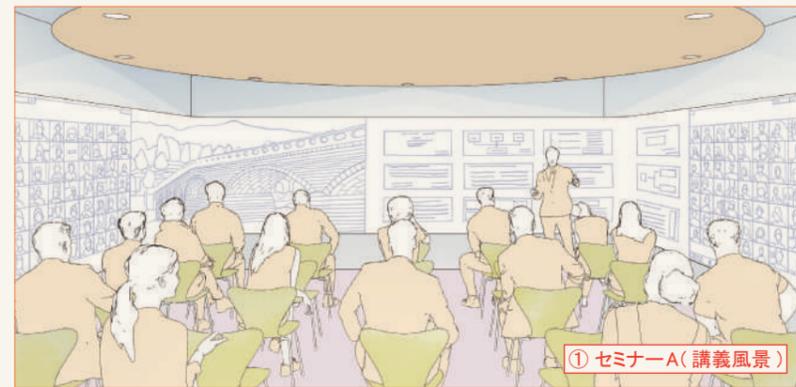
■計画概要

図書室・演習室・講義スペースの環境を総合的に見直し、次世代のシビルエンジニアを養うクリエイティブ commons の整備を目指します。

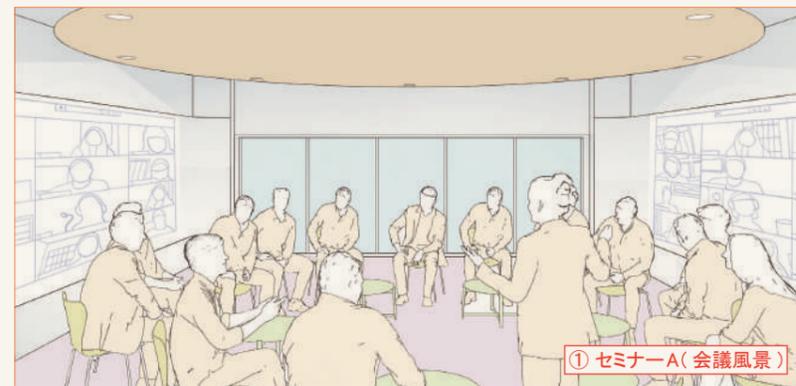
- ① セミナー A を改修
- ② 演習室を移設・改修
- ③ 演習室と一体で使える講義スペースを整備
- ④ 学生コーナーの整備
- ⑤ 図書機能を集約化



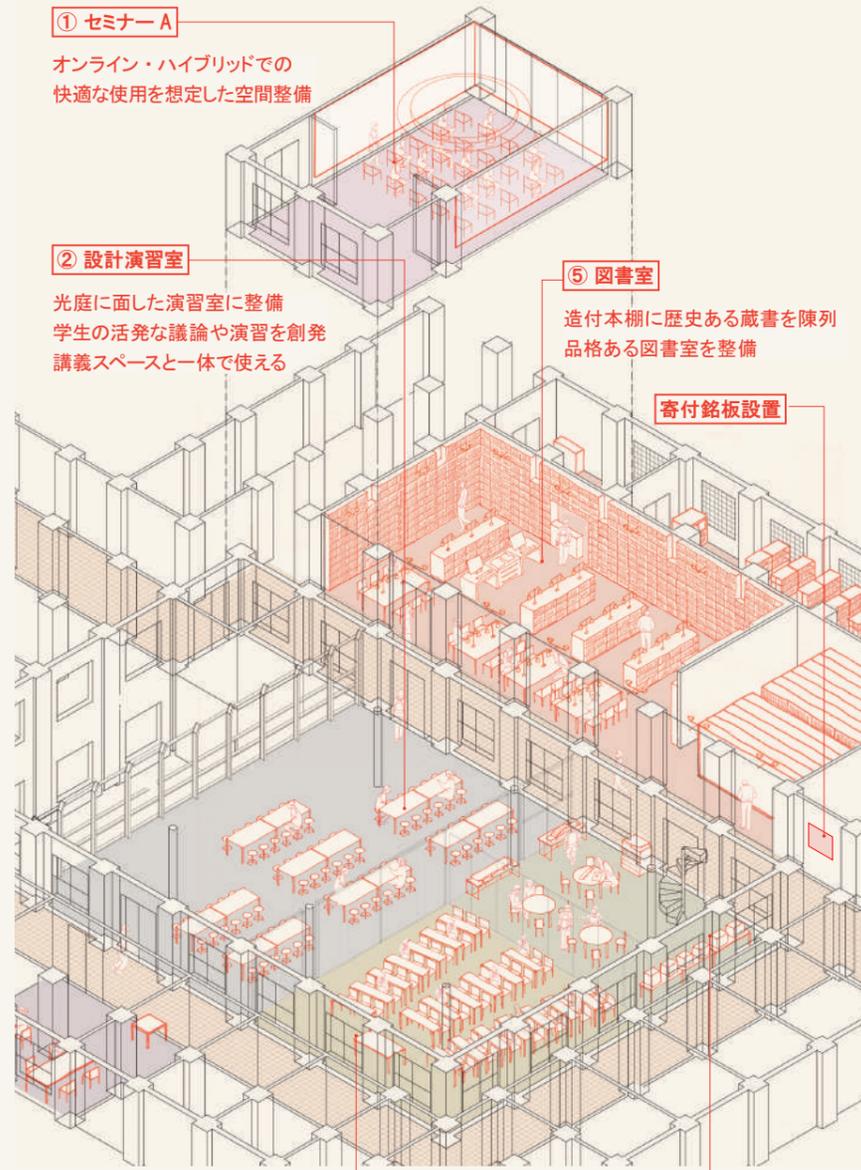
【東京大学工学部1号館】



① セミナーA(講義風景)



① セミナーA(会議風景)



① セミナーA

オンライン・ハイブリッドでの快適な使用を想定した空間整備

② 設計演習室

光庭に面した演習室に整備
学生の活発な議論や演習を創発
講義スペースと一体で使える

⑤ 図書室

造付本棚に歴史ある蔵書を陳列
品格ある図書室を整備

寄付銘板設置

③ 講義スペース

天井高さの低い教室スペースから中央部へ移転
開放感のある空間でのセミナー室として利用
演習室と一体で使える場として整備

④ 学生コーナー

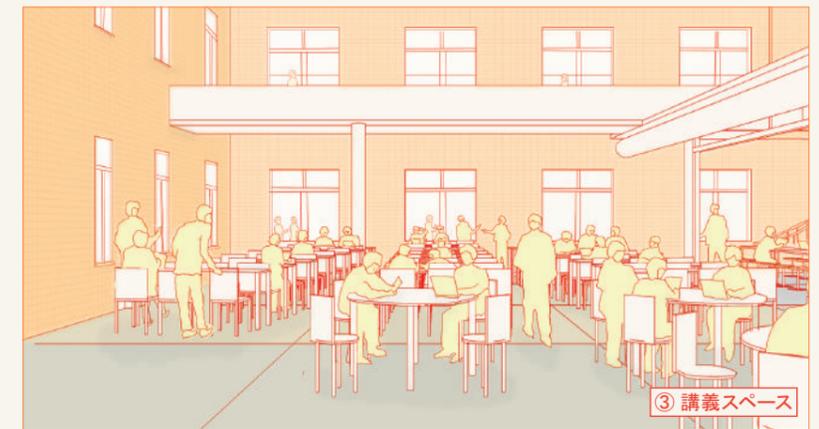
学内情報の発信、3Dプリンター等
機材の共有スペース
学生たちの居場所となる



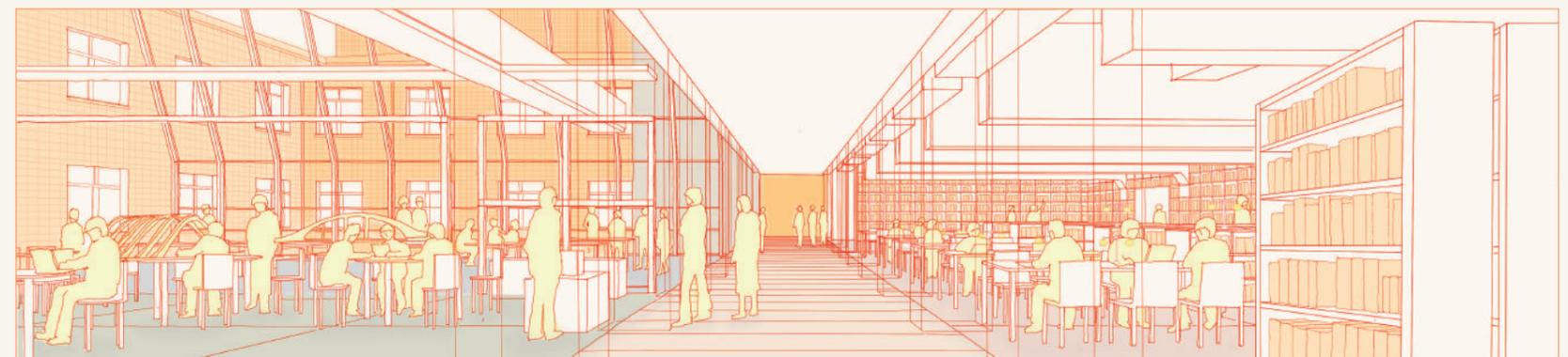
⑤ 図書室



② 設計演習室



③ 講義スペース



ご寄付への感謝

【個人の方】

すべての方：社会基盤図書室が保管する
近代土木史料を用いた
PC・タブレット用壁紙データ贈呈

3万円以上：「古市公威文庫」絵葉書セット
永代橋一般図青焼図面の
原寸大タペストリー贈呈（※）



（※）タペストリーイメージ

10万円以上：工学部1号館2階公共スペースにお名前を刻印した銘板設置
30万円以上：安田講堂内にお名前を刻印した銘板設置
50万円以上：工学部1号館2階公共スペースにお名前を刻印した
特別仕様の銘板設置

【法人の方】

10万円以上：工学部1号館2階公共スペースにお名前を刻印した銘板設置
30万円以上：安田講堂内にお名前を刻印した銘板設置
100万円以上：工学部1号館2階公共スペースにお名前を刻印した
特別仕様の銘板設置

※工学部1号館2階公共スペースへの銘板設置は整備完了時になります。

ご寄付の申込方法

【払込取扱票をご利用になる方法】

同封の「払込取扱票」に必要事項（各票の※印欄）をご記入の上、各金融機関窓口より
お振り込みください。「払込取扱票」は「寄付申込書」も兼ねております。

【インターネットをご利用になる方法】

東京大学基金のWEBサイトからお申し込みください。
クレジットカード決済、インターネットバンキング決済、
コンビニ決済、銀行振込からお選びいただけます。

<https://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt141>



税制上の優遇措置

【個人からの寄付】

2,000円を超える部分について、当該年所得の40%を限度に所得控除対象となります。
確定申告によるお手続きの際に、別途お送りする寄付金領収書を控除証明書として
ご利用ください。

【法人からの寄付】

東京大学基金へのご寄付は税務上、その全額を損金に算入することが可能です。
ご寄付の際は東大基金事務局までご連絡ください。

お問い合わせ：東京大学基金事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 <https://utf.u-tokyo.ac.jp/faq/contact>
Tel: 03-5841-1217(10:00～12:00/13:00～16:00 土日祝除く) Fax: 03-5841-1219

わたしたち社会基盤学専攻は、次代を創ってゆく技術者を育てるため、理想的な技術者教育のありかたを日々模索し追求してきました。学術分野の高度化と学際化、社会的課題の複合化や国際化、学問の社会還元への需要の一層の高まり、高度情報化に伴う各種教育ツールの進歩や教育方法論の多様化など、近年の教育研究環境をとりまく変化は、急速でダイナミックです。技術者にも、さらにより深くより広い視野や知識・洞察が求められています。

次世代の技術者教育に向けて、これまで以上に能動的主体的な学びを動機づけ、多様な相互コミュニケーションをいざない、個々人の個性や長所を伸ばしながらチームとしての力を発揮する能力を養う教育環境が必要であると、わたしたちは考えています。そのために、演習室・セミナー室・図書室など工学部一号館内の公共的な教育研究空間を総合的かつ発展的に見直し、より主体性を伸ばすコミュニケーションベースの学びの空間へと改修する計画を進めています。

従来の講義・演習の進化と充実に加えて、ワークショップ型の教育、オンラインと対面のハイブリッド型講義やシンポジウム、オンラインの特性を用いた遠隔型の実習や研究交流セミナーなど、多様な教育プログラムの実践や研究交流を活性化する環境の実現が目標です。民間企業や行政など現場の方々との交流も促進し、実社会の諸課題に真摯に取り組みその能力を社会還元できる技術者を、いっそう輩出していきたいと考えています。

そこで、上記の趣旨にご賛同いただける個人・法人の方々にご寄付をお願いするため、次世代の技術者育成のための教育研究環境の再構築を理念に掲げ、「東大土木・社会基盤研究教育環境整備基金」を設置することにいたしました。みなさまにご理解とご支援を賜りたく、ここに心よりお願い申し上げます。次第です。次世代の技術者教育を、ご協力くださるみなさまとともに創りあげていきたいと願っております。どうかよろしくごお願い申し上げます。

【いただいた寄付金の使途】

- ・図書室、演習室、セミナー室・講義室（一部）、学生コモンスペースの整備改修費
- ・講義・演習のためのワークテーブル、椅子等の設備整備費
- ・教育のオンライン化、デジタル化に必要な設備整備費

【寄付募集期間】

2022年1月1日～2024年12月31日（予定）



プロジェクト設置責任者

工学系研究科社会基盤学専攻
専攻長 / 教授
布施孝志

東大土木・社会基盤 研究教育環境整備基金

～ご支援のお願い～



社会基盤学専攻は、次の時代の社会基盤を創る意思と能力を備えた人材を養うため、教育研究環境の再構成を目指しています。

ぜひ皆様のあたたかいご支援をお願いいたします。

